

2011年の東京電力福島第一原子力発電所事故により、多種多様な放射性物質が外部に出てしまいました。とりわけ、初期被ばくの主役である放射性ヨウ素の影響が現れやすいとされる甲状腺の状態を把握・確認する方法の一つが甲状腺エコー検査です。

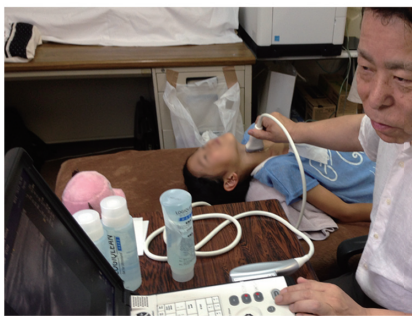
どんな検査？

甲状腺に病変があるかどうか、経過観察が必要かどうかを調べる超音波（エコー）を使った検査です。妊娠中に赤ちゃんの様子をエコーで見たのと同じ要領です。超音波は身体に害がなく、痛みもありません。保護者の方と検査画像を一緒に見ながら、医師が説明を行い、検査写真と報告書をお渡しします。



検査機：LOGIQe (GE社製)

今回のせんせい



寺澤政彦医師（てらさわ小児科・仙台市）

検査結果に限らず、お医者さんに聞きたいけど、なかなか聞けないこと…、普段心配していることや気になる点がございましたら、検査の際お気軽にご質問ください。

いずみについて

私達「放射能問題支援対策室いずみ」は宮城県内においても放射能に関する子どもたちへの健康影響を長期的・慎重に見守る具体的な取組みが必要と考え、2013年10月から活動を開始しました。各地域の市民や住民の方々と協力しながら宮城県内各地での甲状腺検査や、国内外での保養プロジェクト等を行なっています。

HP <http://tohoku.uccj.jp/izumi/>

E-mail izumi@tohoku.uccj.jp

日々更新中！
ぜひチェックして
みてください。

検査会場アクセス

東北教区センター「エマオ」

宮城県仙台市青葉区錦町 1-13-6

* 駐車場はご利用頂けません。公共交通機関のご利用をお願いいたします。

